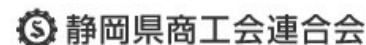


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 3 年 4 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 3 年 4 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 3 年 4 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【半導体不足の影響はあるものの、自動車関連を中心に機械金属製造業が全体を押し上げ、業況は好転している】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-22.3（前月-31.4、前年同月-58.6）で、前月比 9.1pt 好転した。自動車関連等の機械金属製造業において、仕入れ価格は上昇しているものの、需要回復により大幅に好転した。一方で、建設業では木材の仕入れ価格高騰や供給不足により今後の影響が懸念される。

【製造業】

業況は-12.7（前月-30.4、前年同月-51.0）と前月に比べ 17.7pt 好転した。全般的に業況は好転しているが、食料品や機械金属製造業において仕入単価が上昇している。

【建設業】

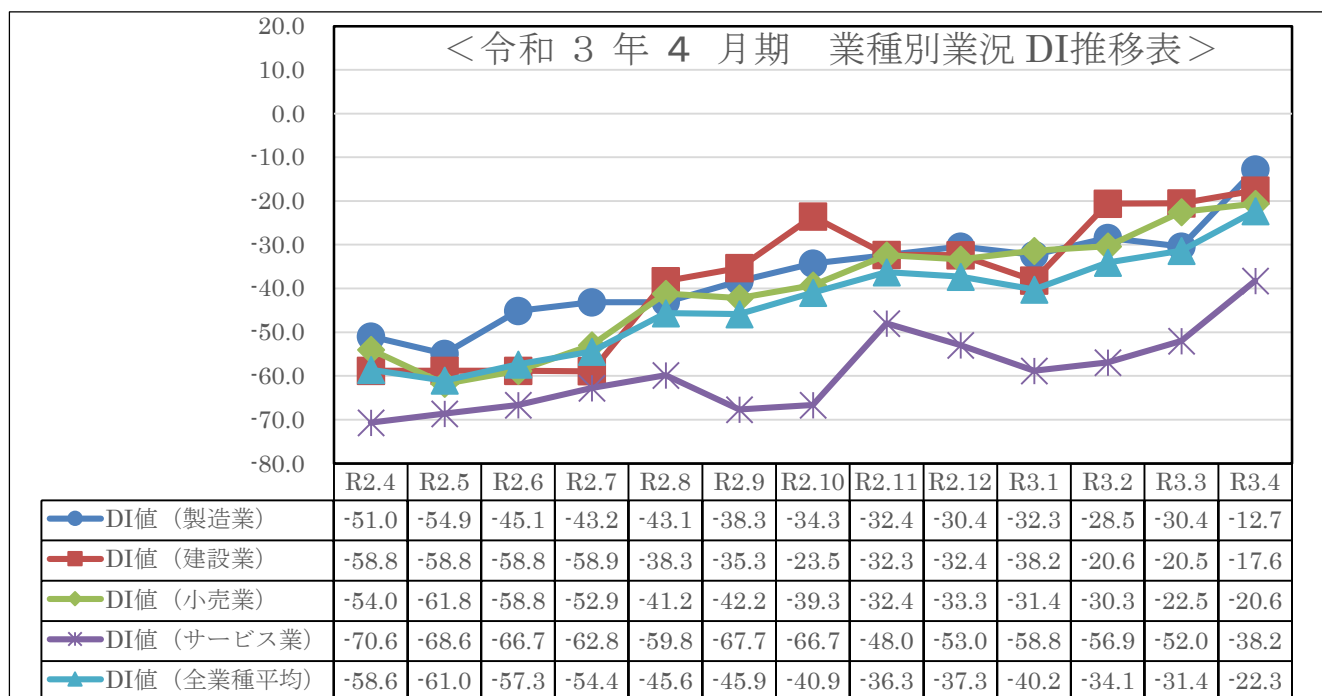
業況は-17.6（前月-20.5、前年同月-58.8）と前月に比べ 2.9pt 好転した。新築・リフォーム等徐々に需要が増加していたが、ウッドショックの影響により輸入材が入手できず、価格の高騰や工期の遅れ等、今後の影響が懸念される。

【小売業】

業況は-20.6（前月-22.5、前年同月-54.0）と前月に比べ 1.9pt 好転した。先月に引き続き、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う内食需要等により、食料品及び家電販売は同水準を維持している。一方で衣料品に関しては外出控えの影響により低調である。

【サービス業】

業況は-38.2（前月-52.0、前年同月-70.6）と前月に比べ 13.8pt 好転した。旅館業において、全国を対象とする緊急事態宣言が発令されていた前年同月と比較すると業況は好転しているが、感染拡大地域を対象とした再発令等により先行きは依然として不透明で、厳しい状況が続いている。



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・食料品製造業ではやや回復の傾向があったが、仕入れ価格が高騰している。（伊豆）
- ・コロナ禍が長期化し、技術や環境変化の対応力による業績格差が拡大している。（富士駿東）
- ・海水温が低いため桜えびの群れの形成が薄く、当初予定していた漁期中一週間の休漁となったため、桜えび関連の食料品製造業の回復兆候は見られない。（中部）
- ・機械金属の受注は安定しているが、材料仕入単価が上昇している。自動車部品の受注以外には、耐震補強に使用する建築部材や家電部材の受注が増加している。（中東遠）
- ・製造業全般的にコロナ禍前に業績が戻った企業が多いが、自動車関連を中心に半導体の供給不足の影響を受けている企業が見受けられる。（西遠）

【建設業】

- ・個別受注機会はやや減少しているものの、公共工事は安定している。（伊豆）
- ・消費増税後、厳しい状態が続いていたが、新築・リフォーム等徐々にではあるが需要が増加している。新型コロナウイルス感染症の影響で一部資材が滞っている。（富士駿東）
- ・解体業の需要は伸びているが、新規建設に関する需要は減少している。（中部）
- ・輸入構造材が入手できず、その他の部材についても値上がりしている。（中東遠）
- ・木材の輸入ができず、年内に完成予定の新築工事も大幅に遅れる見込みである。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

- ・仕入が困難であった空気清浄機も入荷できるようになり、売上が伸びている。（伊豆）
- ・外出自粛の影響により、特に衣料品の売上が伸びていない。（富士駿東）
- ・食料品販売が好調である一方で、衣料品は悪化している。（中部）
- ・食料品については総菜関係の売行きが好調である。（中東遠）
- ・旅行や外食による支出が抑えられたことから、ハイグレードの家電が売れる傾向が続いている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・非宣言地域からの旅行客の予約等で、昨年の緊急事態宣言時より人の動きがある。（伊豆）
- ・コロナ禍であるが、前向きに販路開拓に取り組みたいという相談があり、活用できる補助金等の案内を行った。（富士駿東）
- ・テイクアウトが定着してきているが、独自のサービスや集客方法により、競合他社との差別化を図る必要がある。（中部）
- ・コロナ対策を講じたことにより、理美容の売上は順調に回復している。（中東遠）
- ・理美容において、新型コロナウイルス感染症拡大前の売上に戻りつつある。（西遠）

1.食料品製造業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-23.6	-35.3	好転
売上	2.9	-29.4	増加
仕入単価	11.8	3	上昇
採算	-11.8	-38.2	好転
資金繰り	-26.5	-38.2	好転

2.繊維工業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-8.8	-20.6	好転
売上	-8.8	-23.6	増加
仕入単価	8.8	8.9	低下
採算	-8.8	-17.7	好転
資金繰り	-5.8	-17.6	好転

3.機械金属業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-5.8	-35.3	好転
売上	14.7	-23.5	増加
仕入単価	17.6	8.8	上昇
採算	-5.9	-23.5	好転
資金繰り	-14.7	-29.5	好転

4.建設業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-17.6	-20.5	好転
売上	-20.6	-14.7	減少
仕入単価	20.6	17.7	上昇
採算	-23.5	-14.7	悪化
資金繰り	-29.4	-23.5	悪化

5.衣料品小売業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-41.2	-47.1	好転
売上	-35.2	-35.2	不変
仕入単価	2.9	3	低下
採算	-32.3	-32.4	好転
資金繰り	-32.3	-38.2	好転

6.食料品小売業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-8.8	-8.8	不変
売上	11.8	8.9	増加
仕入単価	8.9	5.9	上昇
採算	-17.6	-17.7	好転
資金繰り	-14.7	-17.6	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-11.7	-11.7	不変
売上	0	-8.8	増加
仕入単価	11.8	11.8	不変
採算	-11.7	-11.7	不変
資金繰り	-14.6	-14.7	好転

8.旅館業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-50	-64.8	好転
売上	-35.4	-55.9	増加
仕入単価	-5.9	-2.9	低下
採算	-47.1	-56	好転
資金繰り	-47.1	-53	好転

9.洗濯業

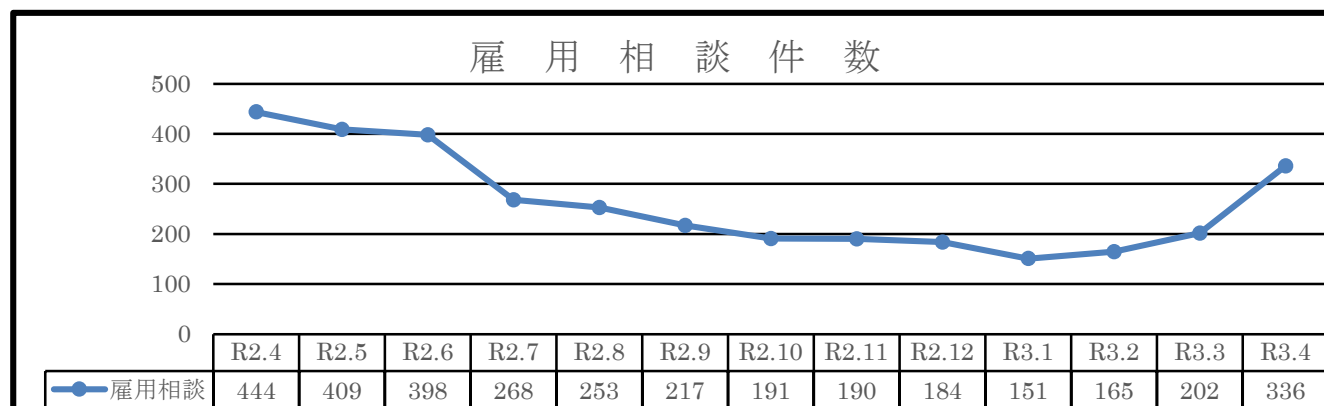
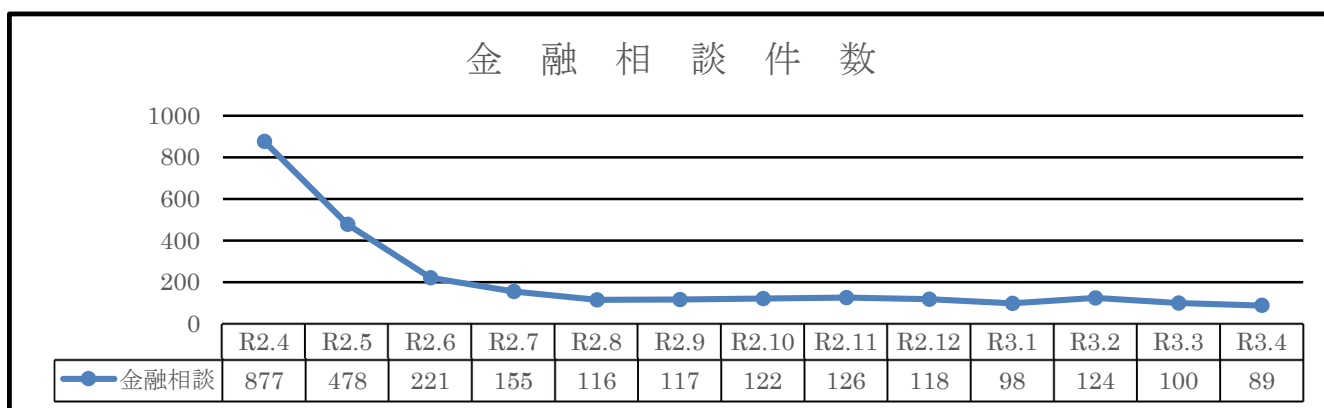
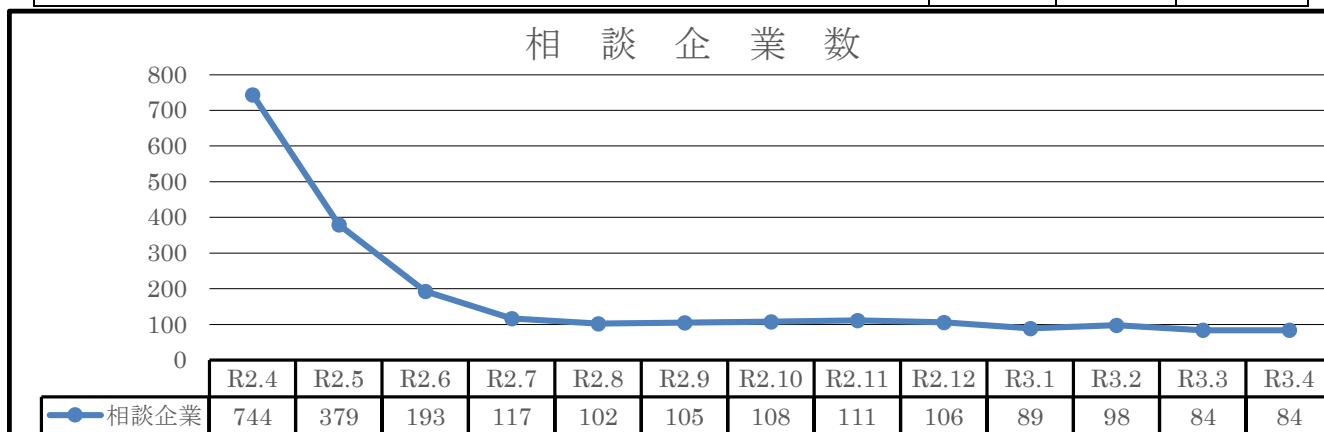
	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-38.2	-58.8	好転
売上	-17.6	-53	増加
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-20.6	-41.2	好転
資金繰り	-26.5	-53	好転

10.理美容業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-26.5	-32.4	好転
売上	-17.6	-20.6	増加
仕入単価	0	0	不変
採算	-14.7	-20.6	好転
資金繰り	-20.6	-32.4	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年4月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	84	84	0
【金融相談件数】	89	100	-11
新規融資（借換えを除く）	41	58	-17
既存債務の借換え	33	33	0
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	14	9	5
【雇用相談件数】	336	202	134



【金融相談】

金融相談件数は、89件と前月(100件)に比べ11件減少した。前回に続きやや減少傾向にあるが、コロナ禍の長期化により、運転資金や既往債務の条件変更、借換についての融資相談が多い。

＜経営指導員コメント＞

- ・コロナ融資で、返済据置期間が終わり元金返済が開始されたが、コロナ禍の長期化により返済猶予延長や新たな借換ニーズが発生している。(伊豆)
- ・資金繰り相談の多くは既存借入金の借換が多い。(富士駿東)
- ・民間金融機関の無利子融資が3月末で終了しているため、コロナマル経についての相談が増えている。(中部)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により入金サイトが伸び、資金繰りが厳しい。(中東遠)
- ・全体的に企業からの資金需要は落ち着いているが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける飲食業においては資金繰りが厳しい状況が続いている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、336件と前月(202件)に比べ134件増加した。年度初めであり、雇用保険資格取得・喪失に関する相談が増加している。また雇用調整助成金の特例措置により期間が6月末まで延長され、相談窓口や専門家派遣事業等により対応をしている状況である。

＜経営指導員コメント＞

- ・年度替わりに伴い、入退社に関する手続きの相談があった。(伊豆)
- ・労働保険事務組合の年度更新に合わせ、雇用調整助成金に関する相談が増加した。(富士駿東)
- ・年度初めのため雇用保険資格の取得と喪失に係る相談が多くあった。(中部)
- ・雇用者が無くなったため、労働保険事務委託解除をした事業所があった。(中東遠)
- ・コロナ禍の厳しい状況の中、小規模の建設業において従業員確保は非常に困難である。また入国制限に伴い、外国人技能実習生が入国できず、労働者不足となっている事業所がある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・第2弾「みなみいず応援プレミアム付商品券」が4/1(木)から使用開始となった。(南伊豆町)
- ・黄金崎桜まつりが規模を縮小して開催され、人出は例年の5割程度であった。(西伊豆町)
- ・4/3(土)～4(日)に開催された全日本スーパーフォーミュラ選手権に商工会のブースを設け、優良推奨品(菓子・物産)の販売・PRを行った。(小山町)
- ・4/18(日)ゆうすい朝市(清水町ゆうすい商店会)を開催、小売業、飲食業12店舗が出店した。(清水町)
- ・4/4(日)旧東海道蒲原宿の軒先にお店が点在する散歩型マーケットイベント「TOITA MARKET(トイタマーケット実行委員会)」が開催された。(静岡市清水)
- ・4月中旬より商工会会員事業所で買い物をすると総額120万円を還元するキャンペーンを実施している。(川根本町)
- ・4/29(祝・木)より海湖館さくら市食堂にて毎年恒例の「うなぎ・魚つかみ取り体験」「しらす釜揚げ体験」を、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら開催した。(新居町)